石川先輩サックス

九月例会開催報告

くじら祭実行委員会 的場 義春

九月二十五日（土）に九月通常例会「過去を知り、未来に活かそう　Ｒｅｔｒｙ」を開催させていただきました。

開催案内でもお伝えさせていただきましたが、本例会は、当委員会担当の五月通常例会「過去を知り、未来に活かそう」が新型コロナウィルスの影響で中止となってしまい、「Ｒｅｔｒｙ」と題して改めて開催させていただきました。

向山先輩、荒川先輩のご協力のもと、現役会員より質問方式にて過去の思い出話、苦労話など特別会員ならではの貴重なお話を聞かせていただきました。

先輩方の当時のお話を生の声で聞けたことで今後の会の更なる発展、成長に繋がる例会になったと思います。

例会の講師としてお願いをさせていただき、快くお引き受けしていただきました向山先輩、荒川先輩、また会場をコロナ禍の中お貸しくださいました石川先輩、ご協力いただき本当に有難うございました。

参加して下さった皆様、くじら祭実行委員会の委員の皆様、このような状況下での参加、設営本当にありがとうございました。

九月例会を運営して

くじら祭実行委員会 大井田 あゆみ

今回の例会は石川先輩の石川酒造で開催しました。

ＡＩＪに入会して約二年間、新型コロナウィルスの影響でほぼ対面例会を運営、参加する事もなく、私にとって初めてに近い対面例会でした。五月例会の「Ｒｅｔｒｙ」として改めて開催、運営出来たことが私にとって素晴らしい経験になりました。会場準備や動画を流すなど担当する仕事があり、ＺＯＯＭ例会とは違う緊張感を感じることが出来たのは、対面例会ならではなので、私にとって素晴らしい経験になりました。

向山先輩が理事長をされていた時の事や、荒川先輩がくじらビールを開発された時の事など、お二人から沢山のお話が聞けた例会でした。

向山先輩、荒川先輩から過去のＡＩＪのお話を聞き、昔は熱い気持ちでぶつかり合っていたんだなぁと思いました。石川先輩の「ＡＩＪは家族を大事にする」という言葉が特に印象に残っています。

私は意見を言うのが苦手なので、これからは熱い想いでＡＩＪに向き合っていきたいと思いました。

九月例会に参加して

広報室 清水 洋平

会場付近に来るとジャズが聞こえてくる。でも景観は情緒あふれる酒蔵。普段味わえないおしゃれな雰囲気に気持ちが自然と高揚するのがわかりました。

今回の例会は、石川先輩の石川酒造で向山先輩・荒川先輩をお招きして講演いただく内容で、ＡＩＪの先輩を目の前にして、いい意味での緊張感を持って臨むことができました。当時のＡＩＪのお話を拝聴し、先輩方が、現役時代どんな心境で活動されてきたのかを知り、また我々現役に対しての思いもお聞きでき、大変貴重な体験となりました。この経験を今後に生かし、ＡＩＪを頑張ろうという気持ちにさせていただきました。

的場委員長を始めとするくじら祭実行委員会の皆様、大変お疲れ様でした。委員会の団結力、そして委員長のこの例会に対する思いが伝わり、又、対面例会での久々の非対面にはないリアルな緊張感、ＡＩＪの醍醐味を味わうことができる、そんな有意義な例会であったと思います。